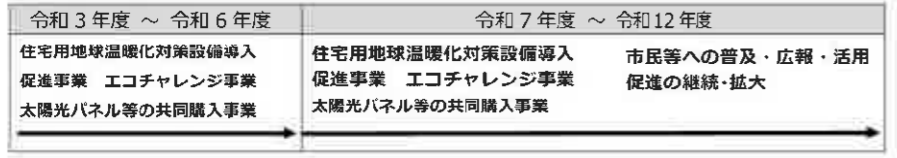


第4次長久手市環境基本計画（改訂版）重点施策 概要版

A. 脱炭素の暮らしと地域づくりに向けた取組

【重点施策1】 『電力見える化システム』を通じた市民の環境配慮行動の『見える化』

【SDGsとの関係】



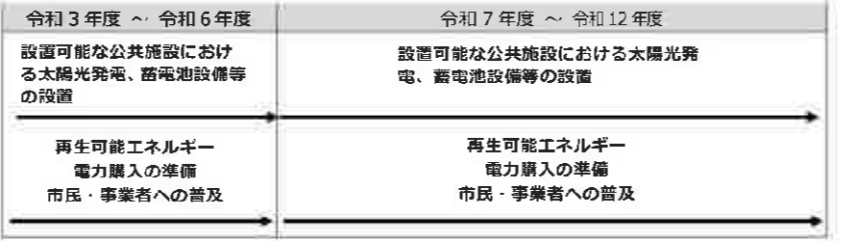
【成果指標（数値目標）】*

項目	実績値（達成度）		（目標値）
	現状値(令和元年度)	令和6年度(2024)	
環境配慮行動促進事業参加者数 (エコチャレンジ事業エントリー数及び太陽光パネル等の共同購入事業登録者数)	-	累計 2,806人 (72.6%)	累計 3,866人

*当該計画策定時には「電力見える化システム」の整備、電気使用量を成果指標に掲げていたが、実務としてシステム整備が困難な状況であったため、上記のとおり、見える化について、より効果を検証できる現実的な成果指標に改めました。

【重点施策2】 公共施設における使用電力の『見える化』と再生可能エネルギーの活用

【SDGsとの関係】



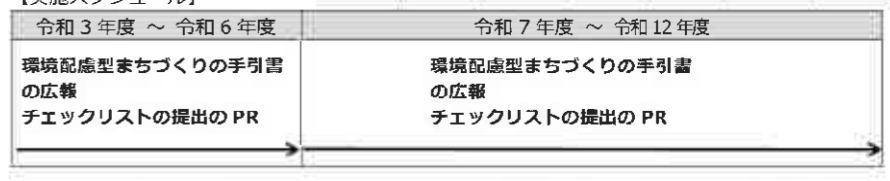
【成果指標（数値目標）】*

項目	実績値（達成度）		（目標値）
	現状値(令和元年度)	令和6年度(2024)	
計画期間中の公共施設における太陽光発電、蓄電池設備等の設置箇所数	-	1箇所	6箇所(小学校区ごと)

*当該計画策定時には「使用電力量を『見える化』する公共施設」を成果指標に掲げていたが、『見える化』システム整備が困難な状況であったため、上記のとおり、より効果を検証できる現実的な成果指標に改めました。

【重点施策3】 環境配慮型まちづくりの『見える化』と推進

【SDGsとの関係】



【成果指標（数値目標）】*

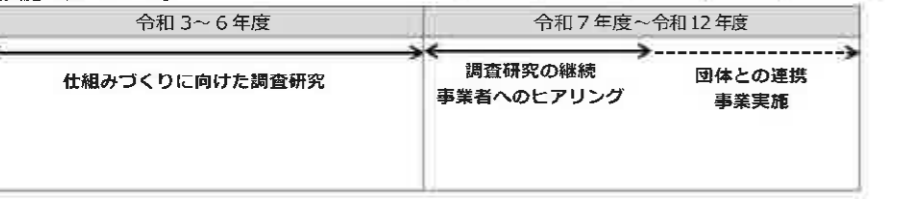
項目	実績値（達成度）		（目標値）
	現状値(令和元年度)	令和6年度	
建設工事 着工前の「チェックリスト」の提出件数	-	7件	年14件の増加を目指す
建設工事 完了後「チェックリスト」の提出件数	-	0件	年14件の増加を目指す

*当該計画策定時には「環境配慮型まちづくりチェックリストの提出率」を成果指標に掲げていたが、年間の住宅等の建設件数（総数）の把握が困難な状況であるため、提出率を算定できず、上記のとおり、実態としてより効果を検証できる現実的な成果指標に改めました。

B. 循環型の暮らしと地域づくりに向けた取組

【重点施策4】 事業所から排出される食品ロスの削減

【SDGsとの関係】



【成果指標（数値目標）】

項目	現状値(令和元年度)	令和6年度	令和12年度
事業系一般廃棄物排出量	5,131ト	4,642ト 現状より9%減 (令和元年度比)	現状より11%減 (令和元年度比)

【重点施策5】 リペア・リフォーム定着のための場づくり（リペア・リフォームストアの整備）

【SDGsとの関係】

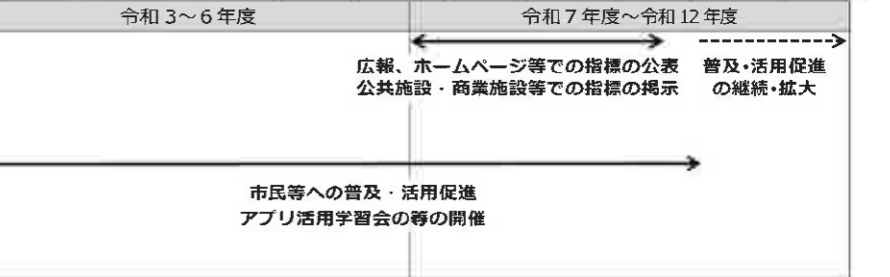


【成果指標（数値目標）】

項目	現状値(令和元年度)	令和6年度	令和12年度
リユース、リペア・リフォームイベント利用者数	80人	開催せず	500人

【重点施策6】 『見える化』システムを通じた、ごみの処理、資源循環の仕組みの『見える化』

【SDGsとの関係】



【成果指標（数値目標）】

項目	現状値(令和元年度)	令和6年度	令和12年度
ごみ分別支援アプリ利用者数	7,000人	16,631人	25,000人

C. 自然共生の暮らしと地域づくりに向けた取組

【重点施策⑦】
豊富な生き物が生息する長久手の価値の『見える化』

【SDGsとの関係】

【実施スケジュール】

令和3～6年度	令和7年度～令和12年度
散策会、勉強会、保全活動体験会の開催 モニタリング調査普及のための事業の開催	事業の継続 市GISによる情報の集約

【成果指標（数値目標）】

項目	現状値(令和元年度)	令和6年度	令和12年度
散策会、勉強会、体験会の参加者数	133人	200人	300人
県民参加型モニタリングへの市内観察記録の投稿数	0件	49件（累計）	100件（累計）

【重点施策⑧】
地域、企業、学生等が主体となった生物多様性保全活動の実践

【SDGsとの関係】

【実施スケジュール】

令和3年度	令和4年度～令和6年度	令和7年度～令和12年度
	担い手発掘の実施	事業の継続
	活動団体、地域、大学、企業等が集う会に参加	事業の継続
	地域、大学、企業による保全活動の実施	事業の継続

【成果指標（数値目標）】

項目	現状値(令和元年度)	令和6年度	令和12年度
生物多様性保全活動の参加団体数	12団体	20団体	同左
生態系保護エリアで確認された希少種 ^{※1} の数	大草丘陵 29種 二ノ池湿地 18種 ^{※2}	減少しない ^{※3※4}	減少しない ^{※3※4}

※1 レッドリスト（国・県2020年度版）掲載種のこと。移動性が高く偶発性に影響される鳥類は除く。
 ※2 平成27年度から令和元年度までに一度でも確認された種の数について
 ※3 過去5年間に一度でも確認された種の数について
 ※4 外部から生物を持ち込むのは、在来の生態系に深刻な影響を及ぼすため一切認めない。

D. 安全・安心な暮らしと地域づくりに向けた取組

【重点施策⑨】
良好な生活環境の形成と『見える化』

【SDGsとの関係】

【実施スケジュール】

令和3～6年度	令和7年度～令和12年度
要留意スポットのデータ集約、パトロール実行者、空き家専門家団体等との連携	市民活動団体支援制度充実の検討
市民活動団体支援制度充実の検討	市民活動団体支援制度の運用
	統合型GISシステムの導入 統合型GISシステムの運用

【成果指標（数値目標）】

項目	現状値(令和元年度)	令和6年度	令和12年度
不法投棄、近隣公害に関する相談件数	約300件/年	未集計	100件以内/年

【重点施策⑩】
気候変動の影響の情報収集、適応策の研究と『見える化』

【SDGsとの関係】

【実施スケジュール】

令和3年度～令和6年度	令和7年度～令和12年度
クールシェアスポット、クーリングシェルターの設置PRと市民へ周知	クールシェアスポット、クーリングシェルターの設置PRと市民へ周知

【成果指標（数値目標）】*

項目	現状値(令和元年度)	実績値（達成度）		目標値
		令和6年度	令和12年度	
クールシェアスポット、クーリングシェルターの設置件数	—	延べ39件（78%） クールシェアスポット 15件 クーリングシェルター 24件	延べ50件 クールシェアスポット 15件 クーリングシェルター 35件	

*当該計画策定時には「気候変動への適応に関する意識調査での優良回答率」を成果指標に掲げていたが、意識調査の実施が困難な状況であったため、上記のとおり、より効果を検証できる現実的な成果指標に改めました。